

嫌われても皆の為にいつ迄も

電車の中で 一人 じっと考えていた。

僕の心の中には
今、大きな二つの影がある。

一つは恋、一つは勉強。

今の段階では、
後者は 進行中初期段階、
しかし、前者は 一向に進まず、後退の様子あり。

後者には先があるが、別に悩みにはならぬ。

前者は不能。

それが 自分を暗いところに 落とし込める。

しかし、こうも考える。

「あの子が いるから

僕は 悩むんだ。

高一になったら、再び、呼び返そう、

それまで、恋はおわずけ。

今は、勉強だ。

あの子なんか いないと 思え。」と。

しかし、通学時、帰宅時に

あの子がいないと

僕の気持ちはいつも沈んでいる。